

ペットな彼女



ペットな彼女





おかえりなさい
ご主人!!

わたし寂しかったん
ですからね…

あまりくっつくな
汗臭いだろ?!

ごはんの用意
できてるよ
それと…

わたしが欲しいもの
分かってくよね?!

えっ?!





ネロが来てから
数日が立つ

彼女が何ものかわからず…
彼女自身も自分のことを
あまり知らないらしい…

先にご飯食べますよね

ああ…頼む

唯一心当たりが
あるとするなら
数カ月前に偶然と通り
かかった捨て猫におやつ
をやったやつだ…

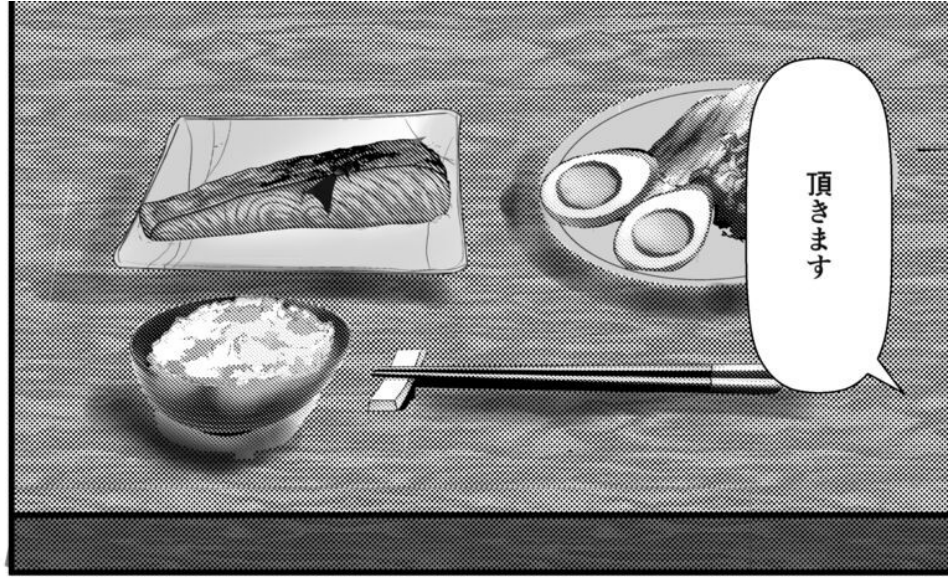
このアパートは
ペット禁止だった
この猫娘はあの猫
なのかもしれない

ネロ

はい…

急に何です
恥ずかしいですね

そもそも
こいつはペットなのか?!



ネロが来てから
食事や掃除など
世話になっている…







あ…っん
ヤバっ…ん
とまん…ない…

はっ…ん…
ちゅっ…んあ…



もっとください…
わたしの中に
ご主人の愛を…♥

はい…
私も妻く気持ちいいですよ♥

ネロの中
妻くあたたかい…



わたしのおそこに
グイグイはいつてくる…



?!

よし…
まだまだいくぞ…

はい…
ぜんぜんいけます…

大丈夫そうか…

むにい



ん…?

あの…
ご主人…

違う体勢でも
構わないですか？

ちゅっ…
はっあ…ん…♡

あ…うん…
わかった

たっ…



ふっは〜あ…
ハアっ…

ははっ



ちゅっ
ちゅっ



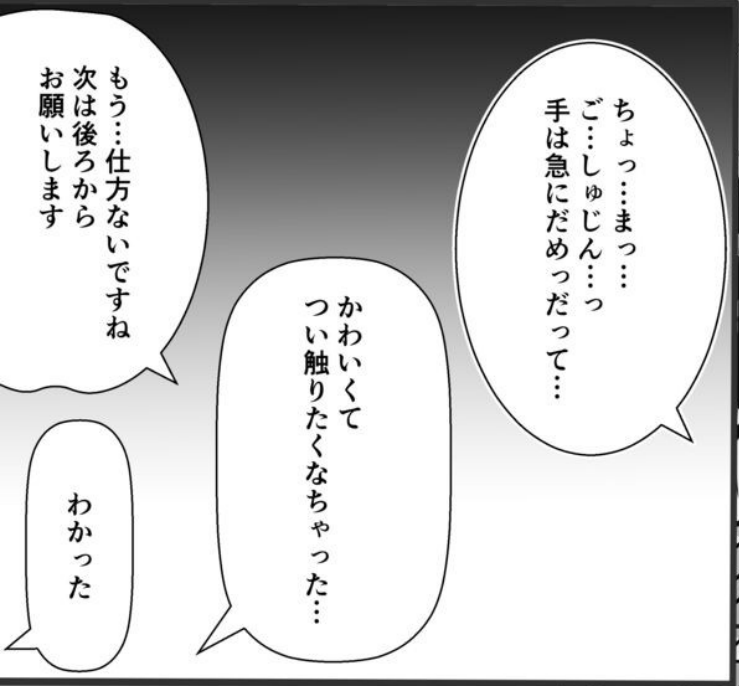
もっ…
もっ



だっ…ダメっ…

えっ…まっ…
急にあそこいじられたら…
マズいよ…

おさえられない…



ちよっ…まっ…
ご…しゅじん…っ
手は急にだめっだっ…

かわいくて
つい触りたくなっちゃった…

もう…仕方ないですね
次は後ろから
お願いします

わかった

わたしのなか
崩壊しちゃうよう…

えい!!



いくぞ!!

んんん

はい...
来て下さい...

すごい...
締め付けてだ...

ほ...
ほ...

あ...
んんん...

ほ...
ほ...

んんん

あ

んんん



すごいです…
わたしの中を
ビクンビクンって
はじめています。



ヤバい…
気を抜くともって
かれそうだ…

とまらない…

あつ…あん…
んっ…はっん…♡

あ…
あ…
あ…

私の中で
ご主人のおちんこが
どんどんアツくなつて
くるのがわかる…



いよ
いよ
いよ

いよ
いよ
いよ

いよ
いよ
いよ

どうですか
わたしの中は？

すいへ
きもちごと
お

あっ…ん♡

これマジで
ヤバイ…



いよ
いよ
いよ

いよ
いよ
いよ

あひゃ





ああ…
最高だよ…

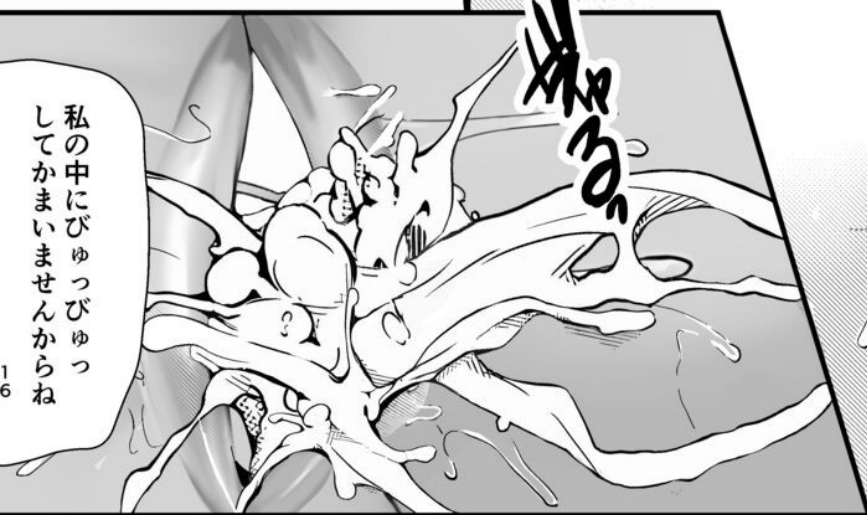


ご主人
きもちいいですか？



ガマンしないで
思いっきり腰を
振ってください…

ああ…



私の中にびゅっびゅっ
してかまいませんからね



すごい…
さっきから勢いが止まらない…

もうギブアップするか？
それとも
ここのスイッチを触ってみるかな…



そこは
あまりイジめないで…

じゃあ
こっち…



はっ…んっ…
…ちゅ…っん…

たっ…

む…



ネロそろそろ
限界に近いかも...

私に構わず
全力で射精して
ください...



射精る



わかった...



まだこんなに残っているなんてスゴいですね…

うん… たのむ…



まだこんなに大きいなんて信じられない…



ご主人 わたしがきれいにしてあげますね…♡



だらだら…だらだら…



残すのは 勿体ないですからね



最後までキツチリ舐めてあげますからね



ぜんぜん
ちいさくならない
まだ物足りないのかな？

んちゅ…

まだまだ
元氣そうですね
もう一回いきませう？

まだ
物足りない
思っていた



ガッガッ

ド

ガッガッ...

ガッガッ

ド

ド

しゅ...つきです
もっとください...

ご主人...
ちゅ...っんっ...
あっ...むッ...んっ...

ネロ
いんぞ...

ご...ご主人
さっきより大きく
なってますか?!

ネロ
ネロ

ネロ
ネロ

は...は...

スゴいですよ…
どうしてまだ
こんなに硬いんです!!

身体を重ねると
ご主人が私を求めて
いることが分かる…

ピストンの
勢いがとどまる事が
ないのが証拠







ネロまだまだ
いくぞ...

!?

ご... しゅじん...

えっまだ早くなるの...

どれだけの
体力があるんですかあ...

あつ... はあん...
だめっ... ダ... つめ...



それなら…
よかったです♡

すげー
きもちいいよ

ア
ガ
マ

ア…あ

あ

あ

ん

ん



どのくらい
時間が経った
のだろう



むっ...ちゅっ...
んっ...あッはん



ネロ



ご主人もう
限界だよわたし...

何を言っているんだ…
まだ始まった
ばかりだろ…

えっ…
冗談だよね…

そう思うなら
これでどうだ…

むり…ムっ…り…だ
って…はんっ…ほっ…に…

えっまって…
そんなに
強くしたら…
わたしが壊れちゃうよ…



あっ…
はっあん…



イク



もう許してよ…
ご主人…

もうこんなに
溢れているのに…

まだ付き合っ
てもらうぞ…

30



そこは…
だめっ…♡

ここを触れば
元気がでるんだろ…

はっにああ〜

これでどうだ!!



ア
サ
ア
ッ

ヤバい...もう
射精る







早く出して下さい...

ヤバい...もう射精る

アッ
ヤッ
アッ

だら... だら...

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



二回目なのに
すごい量だわ…

こんなにたまっ
たからあんなに
激しかったんだ…



満足してもらえたかな



すごく
よかったよ
ネロありがとう…



それは
よかったです…



これでぐっすり
眠れますね...

あっ...うん...

あっ♡

んっ♡

ははっ



最後に
あと一回しないか?!

...



では..
おやすみなさい♥

絶対にムリです
また明日にしましょう

ご主人の
性欲を侮っていた
これは不味い..

さっきまで..
あんなに激しい
セックスをしたのに
これ以上やったら
死んでしまいます

んっ!! っ!!



明日野郎は
バカ野郎だ！

絶対にムリです
明日があるじゃ
ないですか…

頼むよネロ
あと一回だけだから



バカ野郎は
ご主人でしょ



ドクドク

いけないですよ
やめてください…
ご主人…

うん…
イけそうだ…

その後
無事に三回戦まで
突入しました

もう
イっちゃってますよ…

ごっ…しゅっじ…ん

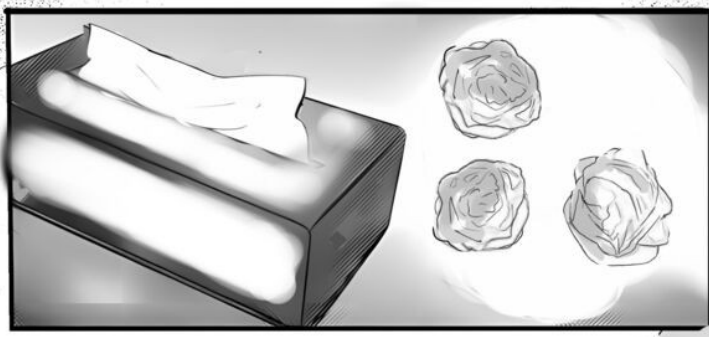




プカッ...

もう
絶対寝る...

安定の三回目の
中だしをされました。



これは
さすがに
やり過ぎでは無いですか…



あのさ
ご主人？



そうだな…

私いつまで
居ていいの？！

なら
そうやせて
もらおうかな…



死ぬまで面倒みて
やるよ